

令和元年「市民と議会のわがまちトーク」報告書

開催日時	令和元年8月3日(土) 午後1時30分から3時まで
開催場所	商工観光センター 4階 展示交流室
テーマ	東西市街地の浸水対策
参加市民	31人
出席議員	担当委員会：産業建設委員会 今西克己、山本治兵衛、川口孝文、小西洋一、仲井玲子、松田弘幸 サポート委員会：福祉健康委員会 鯛慶一、杉島久敏、石束悦子、尾関善之、田畑篤子、田村優樹

内 容

【概要】

議長の開会挨拶に続いて、6月定例会について報告した後、グループに分かれてテーマについて意見交換を行い、最後に各グループから意見交換の内容を発表した。

【各グループの意見交換の内容】

1班

担当議員：(委員長) 今西克己

参加者数：6人(議員を含む。)



【出された課題の傾向と主なもの】

- ・高野川と大手川合流地点に舞鶴市が設置予定の排水ポンプは、機能するのか。
- ・西舞鶴市内の約70%の地点が海拔1m以下である。津波対策、高潮対策はどのようになっているのか。
- ・市内の避難所が低地にあり豪雨のたびに浸水しているため、避難所に行くことすらできない。

【検討した課題と意見の内容】

- ・高野川の排水ポンプ場の設置は、過去の浸水被害等を考慮して設置されるが、高潮発生時の検証が必要
- ・津波対策として高所避難所の設置、高潮対策としては市の宅地嵩上げ補助金の充実が必要
- ・低地に立地する避難所の見直しが必要

【解決策の案の内容】

- ・今回初めて排水ポンプ場を整備していただけるので、増水時での運用等についてしっかり検証することが大切である。
- ・津波対策としては、ふだんから3階以上の高所避難を、高潮対策としては、宅地嵩上げしかないなので、官民連携が必要
- ・指定避難所の見直しが急務である。

2班

担当議員：(副委員長) 山本治兵衛

参加者数：7人(議員を含む。)

【出された課題の傾向と主なもの】

- ・行政的な課題として、高野川の対策と維持管理・復旧
- ・避難所までの避難ができない。
- ・担当者のスキルが低い、
- ・個人的な課題として、意識が低い。



【検討した課題と意見の内容】

- ・公共工事はしっかりやる。溝掃除は官民連携
- ・避難所の充実
- ・個人的な災害意識の向上

【解決策の案の内容】

- ・住民の要望が大事ではないか。
- ・溝掃除は災害防止につながる。
- ・水位の低いところは、公共工事による開発と防災意識を持つ。

3班

担当議員：(委員) 仲井玲子

参加者数：5人(議員を含む。)

【出された課題の傾向と主なもの】

- ・避難所の快適性について
- ・立地による災害と二次災害
- ・被害状況の市民への周知



【検討した課題と意見の内容】

- ・道路に溜まった水を車がはねて、ガレージなどが被害を受ける。
- ・災害に遭った人と遭ってない人との意識の温度差が違う。
- ・避難所の位置が低い。
- ・日頃からコミュニケーションを取り合うことが大切ではないか。
- ・コミュニケーション力低下の若い世代に共感してもらうにはどうしたらよいか。

【解決策の案の内容】

- ・メンタル面で支え合うために共感力を育てる。
- ・被害に遭った友達の家ボランティアへ出掛け、体験を共有する。
- ・減災に向け、日頃から自然について学ぶ。

4班

担当議員：(委員) 小西洋一

参加者数：7人(議員を含む。)

【出された課題の傾向と主なもの】

○ハード面

- ・堤防と橋の強化
- ・内水対策
- ・川底の浚渫
- ・宅地嵩上げ
- ・遊水地・プールの確保
- ・土砂災害警戒区域の工事

○ソフト面

- ・地域住民の連携
- ・避難体験
- ・安全な避難路の見直し
- ・防災無線
- ・FMまいづるによる情報伝達



【検討した課題と意見の内容】

- ・堤防の点検の強化、安全な橋への架け替えが必要
- ・避難所の変更の見直し、避難体験の実施が必要
- ・災害の情報伝達が全市民にしっかり伝わるようにする。

【解決策の案の内容】

- ・土砂災害警戒区域を優先に防災減災等公共工事への税金投入
- ・安全な避難所の確保と避難所の見直し
- ・子供たちを中心に安全な避難路の確保と避難体験を行う。
- ・各家庭への防災無線の設置とFMまいづるの活用

5班

担当議員：(委員) 松田弘幸

参加者数：6人(議員を含む。)

【出された課題の傾向と主なもの】

- ・防災無線が聞き取れない。
- ・災害時のマニュアルの見直しが必要である。
- ・避難施設が海沿いにある。
- ・道路・家屋の浸水



【検討した課題と意見の内容】

- ・ 情報に対する意見
- ・ 避難に対する意見
- ・ ハード対策に対する意見

【解決策の案の内容】

- ・ 排水ポンプ・ゲートの設置
- ・ 段ボール・土のうの支援
- ・ ICTの活用による情報の入手と避難マニュアルの見直し
- ・ 公共施設をつくる場合は、浸水しない所に建てるなど
- ・ ハード対策は、計画を立てて一つずつ着実に進行。

6 班

担当議員：(委員) 川口孝文

参加者数：6人(議員を含む。)

【出された課題の傾向と主なもの】

- ・ 大雨・台風時の治水対策が必要
- ・ 常に床下床上浸水があるので、冠水対策が必要
- ・ 土砂が道路に溢れ、側溝が塞がれる。
- ・ 避難場所に避難するタイミング



【検討した課題と意見の内容】

- ・ 冠水対策として宅地嵩上げが有効だが、実際には難しい。
- ・ 越水に備え堤防を高くし、逆流防止装置を設置する。
- ・ 避難が困難な時にどうすればよいか分からない。
- ・ 消防団との連携

【解決策の案の内容】

- ・ 0mポンプ導入の研究をする。
- ・ 避難場所の周知を徹底する。
- ・ 災害後の汚泥の処理を行政で実施していただき、消毒してもらう。
- ・ 近隣の消防団との連携

【意見交換の結果の取り扱い方針】

各班の意見交換会の結果について、委員会で調査・議論を行い、市政への反映に向けて検討していく。